

令和6年度事業報告

- (1) 開発途上国の保健・福祉に関する調査研究
- (2) 保健福祉関係者の研修および交流
- (3) 機材および薬品の供与
- (4) 開発途上国国民に対する環境衛生思想向上のための広報活動
- (5) 開発途上国に対して行われる保健医療分野の研修員に対する研修上の助成
- (6) 前各号の事業に必要な施設の設置運営およびその他の付帯事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

I 国際博愛協会のタイ国チェンマイ大学並びにチェンダオ病院訪問の報告等

前記 事業(1)と(4)の配布状況の調査および(2)の交流にあたります。

令和6年度の海外現地視察は立浪忍理事、大西あけみ事業推進委員、細谷美和子氏の3名で行われた。

II 海外の医療従事者の招聘および研修

前記事業の（２）（４）および（５）にあたります

（４）に関しては結核啓蒙ポスター（英語版）を招聘後帰国する際出来る限りの枚数で持ち帰って貰い配布してもらっております。

令和６年度招聘は５グループ１５名を招聘いたしました。

２０２４年７月８日～７月１８日

Sukonta Kunapun,APN,RN

Jittanom Sangkhanan,RN,Ph.D.

Ms.Panit Sakulwattana

２０２４年９月２４日～１０月４日

Hunsa Thienthong,RN,Ph.D.

Ms.Siriwan Piyakuldumrong

Mrs.Nipapon Auppinjai

２０２４年１０月３０日～１１月１０日

Ms.Boonchalao Suriyavan,RN

Pornsiri Chaisom, RN, Ph.D.

Mrs.Nuthaya Puatad

２０２４年１１月１８日～１１月３０日

Mrs.Nantawan Mongkolwesa

Ms.Kanlaya Chunjai

Ms.Busara Rungratanachai

２０２４年１２月９日から１２月２１日

Mrs.Napapat Thawatweerakul

Mrs.Darunee Khaunnil

Mrs.Kamolluck Puntarod

Ⅲ 医薬品等の供与タイ国チェンダオに対し抗結核剤現地購入代金として50万円を送金。

前記事業の(3)および(4)にあたります、(4)に関しては海外視察の際、結核啓蒙ポスターも出来るだけ運んでもらい、配布してもらっております。

IV ファミリードクターブックレットの出版配布（タイ語版）出版費用として50万円を送金しております。

前記事業（4）にあたります。

タイ国チェンマイ大学医学部と協力し、衛生普及小冊子を毎年出版配布しております

前記事業（4）にあたります。

V 旧介護医療院狭山博愛の医療機材及び医療材料の寄付

旧介護医療院狭山博愛で使用していた医療器材や医療材料、ベッド、床頭台、ロッカーや棚や机などの備品にいたるまで、令和6年度に招聘した看護師に見てもらい、現地とも電話連絡をして現地で使用できるかの確認の上搬送いたしました。引き続き令和7年度も器材、医療材料の寄付を行います。

VI 研修施設である狭山博愛クリニックの運営

前記 事業の(2)(5)(6)にあたります。

令和5年3月31日で狭山博愛クリニックは今までの医療院の建物から青柳440-1に移転しました。

狭山博愛クリニックの職員数は

職種	常勤	非常勤	合計
医師	1	1	2
准看護師	1	0	1
事務	2	0	2
合計	4	1	5

令和6年度の狭山博愛クリニックの患者数

令和6年度 月	人数	延べ人数
4月	15名	41名
5月	21名	47名
6月	15名	42名
7月	20名	50名
8月	14名	32名
9月	15名	25名
10月	12名	13名
11月	13名	18名
12月	12名	14名
1月	14名	15名
2月	11名	13名
3月	15名	15名